

字幕、音声ガイド、舞台手話通訳を付し、あらゆる人がともに楽しめるバリアフリー演劇です。

鑑賞サポート

- 舞台上での手話通訳 ● 日本語字幕
- ライブ音声ガイド ● 舞台説明あり
- 補助犬受入可能 ● 事前資料貸出

必要な方はご連絡ください



権藤説子 presents

東京演劇集団風

Touch

～孤独から愛へ～

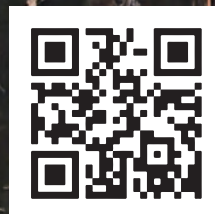
ORPHANS

● **特集 『Touch ～孤独から愛へ～ ORPHANS』**

● **誕生会外出** 他
〈ゆうかり学園〉

● **入園式、芋の苗植え** 他
〈ゆうかり保育園〉

● **避難訓練** 他
〈地域生活支援拠点ゆうかり〉



特集ページ

『Touch ～孤独から愛へ～ ORPHANS』



7月16日(日)の午後から、権藤説子presents東京演劇集団風 「Touch～孤独から愛へ～ORPHANS」のバリアフリー演劇が始良市文化会館・加音ホールで開催されました。

主催は当法人となっておりますが、一般社団法人東京演劇集団風研究所に対して、権藤説子さんが多額の寄付をされ実現した催しです。

風研究所は今年の4月に設立されたばかりで、未来を担う子どもたちや地域社会に「開かれた演劇」を届けるために生まれました。5つの事業を展開されますが、そのうちのひとつ「共生の広場」事業の第一弾として実現したのが、ここ鹿児島での公演です。このあと年間25ステージを全国各地で予定されています。

まず、バックステージツアーとして、開演前の舞台見学からスタートしました。役者の皆さんがつかわれるセットに直接触れたり、ソファに座ってみたり、階段を昇り降りしてみたり。車椅子の方も、特設スロープから直接舞台にあがっていただき、これからはじまるステージへの期待をより高めていただくことができました。



はじめに、宮路拓馬衆議院議員から、ご自身の手話を交えてのごあいさつをいただき、この取り組みの素晴らしさと、今後の広がりへの期待をお話いただきました。



そして、舞台説明。役者の皆さんと舞台手話通訳者が舞台上がり、視覚障害の方にもわかるように、舞台の広さ、セットの配置、それぞれの衣装について丁寧に説明をしてもらい、いよいよ本番です。



私自身も、複数回、このTouchを観劇させていただいておりますが、毎回感涙にむせぶこととなります。舞台と客席をつなぐスロープも、セットの一部として使用され、毎回演出に工夫が凝らされており、飽きることがありません。



昨年11月に鹿児島市内で開催されたヘレンケラーの公演には、ゆうかりの利用者も多数お邪魔しましたが、ぜひ、次の機会にもみなさんでいきましょう。この11月には奄美大島でのヘレンケラーの公演も決定いたしております。

ぜひ、来年以降も、風のみなさんにおいでいただけますように。

権藤さん、風のみなさん、ご協力いただいた鹿児島西ロータリークラブのみなさん、ほんとうにありがとうございました。

writer:水流 源彦





4月19日 すまいる外出



4月24日 外出



カラオケ



カラオケ②



4月28日 外出



ソーメン流し



花と一緒に



良い天気!



砂の祭典



砂の祭典②



誕生日外出



動物を眺める



水族館



池田湖外出



誕生日プレゼントもらいました



自転車講習

誕生日会外出について

コロナウイルス感染症の位置づけが『5類感染症』へ移行し、新年度の始まりを機会に1人1人のニーズに合った、より充実した外出を計画しようと考えました。その中の一つとして、『誕生日の方々と外食に行こう。』という企画を始めました。一人ひとり尊い命が生まれた日を大切にしていきたいと思います。

writer: 仙田 修一

自転車講習について

6月28日、グループホームの利用者さんの内、学園外で仕事をされている方を対象に外部講師を招いて自転車講習を開催いたしました。自転車の構造や乗車前の点検の仕方、今年の4月から努力義務になったヘルメット装着についても説明を聞きます。交通ルールのクイズでは、皆さん楽しそうに解答されていました。今後も安全に通勤して頂くため、年1回の開催を予定しています。

writer: 宮崎 朋幸



4月1日 入園式



おめでとう♪



よろしくね♪



5月23日 芋の苗植え(もも組)



真剣です



たくさん採れたよ!



キャベツも美味しい♪



よ〜いドン!!



あおむし見て〜



お弁当嬉しいな♪



ばあっ!



園庭楽しいな



お医者さんごっこ



見て!作ったよ!

新年度スタート

新入園児8名と新スタッフ4名を迎え、新年度が始まりました。小さい組の子ども達は、担任や部屋が代わり戸惑っている子もいましたが、徐々に慣れ、園での遊びを楽しみながら過ごしています。大きい組の子ども達は、友達とのつながりをさらに深め、一緒に出来ることの喜びを楽しみ色々なことに挑戦しています。今年度はコロナ禍が緩和されたことで行事や活動が増えることを願い、心も体も成長していく姿を保護者と一緒に見守っていけたらと思います。

writer: 上村 万里子

芋の苗植え

5月23日(火)もも組が、ゆうかり学園で芋の苗植えを体験しました。説明を聞いた後、初めて苗を植えていったのですが、植えていくうちに上手になっていきました。その後、裸足になって畑の土の上を走り回り、青虫を見つけて手の平にのせて嬉しそうなおもちゃ。畑のキャベツを生そのまま食べさせていただいて「美味しい」の声が響いていました。豚や牛も見学したり、普段できない貴重な経験ができました。秋の芋掘りが楽しみです。

writer: 坂中 純子



まずは消防署に通報します



慌てずゆっくり避難します



一発で消えました



消火器の使い方を学びました



みなさん上手に消火します



ぱすてる外出活動



草牟田の『薩摩わっふる』さんへ



素敵な店内でティータイム



ワッフルとコーヒー最高



甘くて美味しいー

ぱすてる避難訓練

6月15日ぱすてるでは火災を想定した避難訓練を実施いたしました。1階厨房からの火災で初期消火、通報、避難などみなさまのおかげでスムーズに行うことができました。火災が起きないことが一番ですがいざという時にすぐに対応できるよう、日頃から防災意識を持つことを心掛けていこうと思いました。

writer: 今村 友香里

ぱすてる喫茶店外出

6月14日外出活動として草牟田にある『薩摩わっふる』さんへ行きました。ろう者と聴者の方が一緒に働くお店です。注文は指差しや筆談、手話などで行います。形成から仕上げまで1つ1つ丁寧に焼き上げており、どれも美味しそうで迷ってしまいます。みなさん店内で美味しそうに食べていらっしゃいました。

writer: 今村 友香里



御礼 食堂ペンキ塗りについて

去る4月14・15日、ボランティアの方々が、ゆうかり学園の食堂の塗装をしてくださいました。このボランティア活動は鹿児島市の西谷工業の代表、西谷さんが顧問を勤める全国で信頼のおける塗装プロのボランティア団体「塗魂ペインターズ」が主催です。西谷工業の社員の皆さんはもちろん、九州各地から駆けつけてくださった方々、利用者さん、家族会の方々、職員が一丸となって塗装を行い、とてもきれいな食堂になりました。ご協力頂いた皆さん、本当にありがとうございました。

writer: 仙田 修一



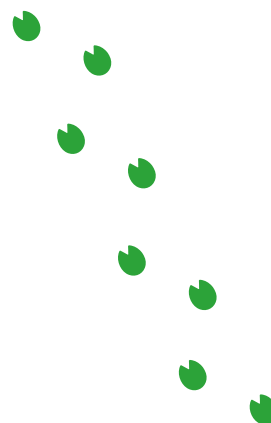
長寿祝い 古希です！



T さん
1953 生まれ



S さん
1953 生まれ



新入職員 よろしくお願ひします！

●ゆうかり学園 事務員／田中 杏理

新入職員からのコメント

入職して3ヶ月経ちました。まだまだ覚えることがたくさんありますが、利用者さんの明るい笑顔を見るとやりがいを感じます。これからも今までの経験を活かして頑張っていきます。よろしくお願ひします。(R5.3～ゆうかり学園)

富窪 ローズ アン ラバワン

皆さんとコミュニケーションをとり、関わりを大切にしていきたいです。よろしくお願ひいたします。

田中 杏理

法人理事メッセージ

「地域で育ち学んだ私のこと」

NPO法人自立生活センターてくてく 理事長 川崎良太

インクルーシブ保育

皆様、初めまして。

NPO法人自立生活センターてくてく代表の川崎良太と申します。この度、ゆうかり様の理事に就任させて頂きましたこと心から感謝申し上げます。

さてタイトルにあります通り、私は地域で生まれ育ちました。え？そんなの当たり前のこと、ですか？おっしゃる通りそれは極々自然なことであります。しかし私は生まれつき脊髄性筋萎縮症という障害があり、生後間も無くから車椅子の生活です。そんな障害がある中、地域で育ち学ぶのは実は簡単なことではありません。

まずは、保育園でのハードル。

これはまさにゆうかり様が取り組まれているインクルーシブ保育園に繋がることでございます。

私が生まれ育った時頃、また地方ではそういった考えがなく通うのは不可能かと思われていました。しかしながら、近所に住み私を幼い頃から見てくれていた保育士さんやその他の先生方の温かいご理解もあり私は3年間親の助けも

なく保育園生活を送ることができたのです。この保育園での学び、そしてその後は親の付き添いが条件ながらも達成できた小・中と地域の学校に通えたことは私にとって大きな財産となっています。

一子どもの分離は一生の分離の始まりー

この言葉は言い得て妙でございます。これは私の体験からも感じたことなのですが、インクルーシブ保育から始まる生活は当事者はもとより周りの子どもたちにも大きな影響を与えます。それは特別なことではなく、言語化しますと障害者・障害児がいる風景が「なんの珍しいことでもなく当たり前の風景になる」ということです。日頃から遊ぶ、日頃から学ぶ、視野の中に溶け込んでいる。

そんな日常が当たり前になり、グラデーションの様に社会に溶け込んでいく。ゆうかり様が取り組まれているインクルーシブ保育はまさに社会を変えていく、言い換えれば社会を当たり前の風景に戻していく人類が挑んでいる大きな一歩

でもある。そんなふうに思います。

私の現在とこれから水流理事長との出会い

私は理念「重度障害者が"人"として輝ける社会を創造する」当事者が主体となり運動体と事業体が車の両輪として機能していくCILを鹿児島で運営しております。CILはこれまで幾度となく社会にイノベーションを起こしてきましたが、30数年前と比べ、多様な福祉サービスが展開される中で、現在は暗中模索の日々でございます。そんな中、鹿児島で福祉業界のトップを走られる水流理事長との出会いはとてもありがたいものでした。おこがましい物言いになりますが、物腰の柔らかさの中にいつも熱いハート、迸るエネルギーを感じさせて頂きお会いする度に、水流様のために力になりたいと思わせて頂きます。ありがとうございます。

今後ともゆうかり様のますますのご清栄をお祈り申し上げますと共に、鹿児島の地からインクルーシブ社会を作り上げていくことを誓い結びとさせていただきます。



プロフィール

NPO法人自立生活センターてくてく 理事長 川崎良太

趣味：読書(ビジネス書を中心に)

すき：家族

コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、今年度は学園でも外出する機会を増やしました。いよいよ夏も本番。涼を求めて海水浴やソーメン流しを企画し、利用者みなさんに喜んで頂けたらと思います。併せて、旅行も計画中ですので、利用者さんの楽しみを一つでも増やせられるよう努めて参ります。

writer: 仙田 修一

= Event =

 ご家族も参加いただけます  地域の方々も参加いただけます

	ゆうかり学園	ゆうかり保育園	地域生活支援拠点ゆうかり
8月	11～16日 夏季休暇 誕生会	9日 避難訓練 16日 食育 26日 1年生同窓会	誕生会 納涼会
9月	十五夜 いつまでも元気会 誕生会	13日 避難訓練 20日 食育・クッキング 23日 親子レクリエーション	誕生会 灯ろう作り
10月	誕生会	5日 防犯教室 11日 避難訓練 13日 秋の遠足 18日 内科健診・食育	誕生会 国体見学

※新型コロナウイルス感染症の影響で、予定が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

発行責任者 理事長 水流 源彦
ブリッジ編集委員会 仙田 修一・塚田 詞子・川田 兎一 (ゆうかり学園) 甲斐 静華 (ゆうかり保育園)
阿間見 良・八瀬尾 理恵・今村 友香里・古下 希 (地域生活支援拠点ゆうかり)

ゆうかり学園 〒891-1201 鹿児島市岡之原町1005番地 TEL 099-243-0535 FAX 099-243-0520
ゆうかり保育園 〒891-0116 鹿児島市上福元町5828番地 TEL 099-263-1775 FAX 099-263-1776
地域生活支援拠点 ゆうかり 〒890-0014 鹿児島市草牟田1丁目8-7 TEL 099-813-7183 FAX 099-813-7176

